

春暖の候、みなさま、お花見や新学期の準備に忙しい毎日をお過ごしでしょうか？今号のニューズレターはスリランカ、ニジェールで活躍された各調整員の帰国報告からアフリカンビーズセミナー開催報告、南スーダンへの新しいボランティア調整員の派遣と盛りだくさんの内容です。春の訪れと共にアムルトジャパンも開花中です！

プロジェクトサイト：スリランカ

【ボランティア調整員を終えて】 スリランカへボランティア調整員 佐藤裕幸

つい先日、赴任の感想を書いたばかりなのだが、もう戻って終了の寄稿をしている。現職維持のまま参加した私には2ヶ月が限界だったのだが、せめてあと1ヶ月は欲しかった。

2ヶ月の滞在で最も印象に残ったのはやはりマイクロビジネスアシスタンス。受益者選択の段階から携わっていたので思い入れが大きい。中でもミシンの受益者は、トレーニング終了後のインタビューまで見届けたので格別だ。彼女らの仕事への思いもまた大きい。生計を成り立たせることがとても困難であるからこそ、仕事に対する思いが強く、頑張れるのだ。何となくでも生きていける日本の緩い生活に慣れきった私には、彼女達の頑張りがとても心に響いた。

一人の女性を例に挙げよう。22歳。未婚。家族4人。父親の収入は4千ルピー。家のミシンは津波で破壊された。家族4人で生活するのに、この収入では食費がやっとならないうるか。一方で足踏式ミシンは1万8千ルピー。商売を始める初期投資としては厳しい。最初の一步が難しいのだ。

彼女はいつも早く教室に現れ、掃除などの雑用を手伝ってくれる。そして授業では、配布したテキストに支給したペンで一生懸命メモをとっている。裁縫の本など簡単には手に入らないので、授業での先生の説明が全てなのだ。会計などの講義でも積極的に質問している。4時間続く授業でも全く手を抜かず素晴らしい集中力だ。そして帰りには率先して重いミシンを運ぶのを手伝ってくれる。彼女は本当に裁縫を身に就けたいのだ。だからこそこのトレーニングをととても大切にしている。その思いを大切にしたいと強く感じた。

我々の準備期間1ヶ月。授業は1週間。必要なコストは、ミシンと最初に必要な布などを足して2万5千ルピーぐらいだろう。それで彼女はビジネスを始められる。同額分の現金や品物を貰ったのとは比較にならない。この1週間で彼女は沢山のことを学んだ。それは知識を増やしただけでなく、彼女の自信にも繋がり、そして何より未来への希望へと繋がったはずだ。このプログラム、現金や品物で直接的に支援するよりももっと受け手の人間性を尊重した素晴らしいサポートだと思う。アムルトの行っているマイクロビジネスアシスタンスの取り組みは、手のかかる地道な作業ではあるが、費用対効果と言う点から考えると非常に効率の良いプログラムだと思う。

直接現金や品物を渡すととても喜ばれるだろう。しかしそれも使い切ってしまうと終わり。また欲しいと思うだけだ。もう一步踏み込んで長期的に、我々がいなくても成り立っていくことを考えなければ。どうすればいいのか。その答えの一つがマイクロビジネストレーニングなのだろう。私は“持続可能な～”と言うのはこういうことかと自分の肌で実感することが出来た。非常に有意義だった。

ただしビジネストレーニングがこんなに短期間で効果を挙げられるのは彼女らが経験を持っていたからだ。全く経験がない場合には難しい。これについて、アムルトは職業訓練校のプロジェクトを進めている。これもこの地方に必要なことであり魅力的なプロジェクトだ。何が今必要なかを調べ上げ、それに付加価値をつけてこれまでにない職業訓練校にしようと呼びかけている。地元に着して活動してきた彼らならそれがやれる。いや、彼らだからこそ現地に溶け込むことが出来るのだと思う。私は残念ながら直接関わることは出来ないが、日本から彼らの頑張りを見守りたいと思う。

私は感動を求めて来たのではない。きっちりプロジェクトとして管理し、クールに業務を進めようと思っていた。しかし、不覚にも単純に感動してしまっていた。最終日に受益者達と別れるのは悲しかった。もっとこの先を見てみたい、もっとここで働きたいと、頭で考えるのではなく心でそう感じていた。

スタッフとの別れも辛かった。ニジャンタが最後に私の手を掴んで離さなかった時、危うく涙をこぼしそうになった。2ヶ月の思いがそこで溢れたのか。人と離れる時、あんなに悲しかったことは今までなかった。クールに仕事を進めることはとても重要なんだけれども、この仕事では心の温かさを忘れてはいけないと言うことか。私はここでそれを学んだのかも。仕事はクールに、でも心は熱く。その両方を兼ね備えてこそ、この仕事ができるのかも。いや、そういう人を育ててくれるフィールドなのか。仕事の進め方を教えてやろうと乗り込んできた私が、逆に皆から人として大切なものを教えて貰った。それは私が今の仕事では得ることが出来なかったことだ。皆さんに、特に受益者の皆さんにお礼を言いたい。

みんなありがとう。私はこの2ヶ月のことを忘れないし、これからもサポートしていくよ。みんな、またいつか必ず会おう。



ビジネストレーニング



裁縫の実習



屋台を受け取り、生計復興へ。



津波モニュメント前。復興を願う。



刺繍の受益者。今後を期待。

プロジェクトサイト：ニジェル

【切っても切れない？ 砂漠化と食べ物と栄養失調児】 ニジェルボランティア調整員 斉藤 慎吾

前回は、水事情や母子保健の知識の欠如など、栄養失調児が増えてしまう背景についてお知らせしました。ただ、これらが改善されても、やはり食べ物がなければ栄養失調になります。今回の調査で配布活動と乳幼児検診に参加して、つくづくそれを実感しました。

現在アムルトでは、*CSB という栄養補助食品を栄養不良児に配布していますが、これを摂取した栄養失調児の 85% は、遅くとも数ヶ月以内に通常まで回復します。また、回復して CSB 摂取をやめた後、再び栄養失調になってしまう乳幼児も少ないながら存在します。食糧と栄養失調は、やはり切り話して考えることはできません。

栄養失調児は 4 月ごろから 8～9 月ごろにかけて多くなるのですが、それと食糧が不足しがちな時期とは、ほぼ連動しています。ニジェルでは、6～9 月の雨季の間に、ミレットや豆などの穀物 1 年分を作りますが、収穫量は年ごとに徐々に減っています。土地の生産力（地力）が低下しているためです。なので、農民の多くは栽培面積を広げたいことを希望していますが、土地利用の問題などもあり、簡単ではありません。地力が低下すると、ちょっとした早魃でも作物が枯れてしまう土地になってしまいます。こうした土地は年々拡大しており、これがいわゆる「砂漠化」ですが、解決にはかなりの時間を要します。

現在の CSB 配給は緊急支援ですので、当然終わりががあります。その次のステップである“復興支援”として、最低限の食糧を自分で確保できるための支援が必要です。例えば、乾季に灌水しながら野菜あるいは作物の栽培をし、それを食べるか、あるいは販売して備蓄用の食糧を購入する方法があります。CSB 配給の次にアムルトがすべき復興支援としては、例えば簡易井戸やハンドポンプを提供したりして栽培へ便宜を図るようなことも考えられます。

お母さん達は、復興に向けた活動について豊富なアイデアを持っています。野菜を栽培すること、行商、家畜を育てて売ること、市場で軽食を作って売ること、等々。地域にある資源を使い、多額の投資をせず、なによりお母さん達の力でできることが大事です。

まずはお母さん達の生活改善意欲を高める活動を支援し、その次に保健センターや学校の先生、そして地域行政も巻き込んで全体的な村づくりを目指していくことが、母子ともに健康で暮らせ、持続可能な効果をもたらす支援のあり方だと考えています。



*CSB : Corn (トウモロコシ)・Soya (ダイズ) Blend (混合)” の頭文字をとったもの。
これらの粉末と砂糖・食用油脂などを配布し、母親は加熱調理して乳幼児に提供する。

詳細レポートは当団体ウェブサイトに掲載しています。

お知らせ！

◆スーダンに日本からボランティア調整員が赴任しました。

2007年3月15日に日本を離れた北村純一さんは、2007年7月末まで南スーダン マルワルコンでアムルトインターナショナルのスタッフと共に難民支援プロジェクトをサポートします。今後現地からの報告を随時ご紹介します。

御礼！

◆”アフリカンビーズで愛を伝えよう！” ワークショップご参加ありがとうございました。

2007年3月8日（木）、大手町カフェで開催したアフリカンセラミックビーズを使いオリジナル携帯ストラップ、プレスレットづくりのセミナーに31名の方が参加されました。ケニア大使夫人 Mrs. Violet Awori も会場を訪れ、和やかな雰囲気の中で作品づくりが行われました。

当日の様子は当団体ウェブサイト、ニュースページをご覧ください。



◆NGO 募金・寄付サイト「イーココロ」コイヤマットデザインコンテスト入賞者発表！

「イーココロ」ウェブサイト上で開催されていた「スリランカ津波被災者製作 コイヤマットデザインコンテスト」が終了しました。たくさんの方がお気に入りの作品に投票してくださり、投票数の多かった上位3名の作品が発表されました。

詳細は当団体ウェブサイト ニュースページをご覧ください。

2006 年度総会が開催されました

2007年3月20日、2006年度の事業報告および決算報告そして2007年度の事業計画および予算を審議するため年次総会が開催されました。2006年度の決算報告は総会にて正式に承認を受け現在HPにて公開中です。

